

養護学校の緊急メーリングリストの構築と運用

ー携帯電話等を活用した養護学校における広域連携の実証実験ー

兵庫県立播磨養護学校 教諭 田中好國・笹野 哲

メールアドレス harima-yogo@hyogo-c.ed.jp

URL <http://www.hyogo-c.ed.jp/harima-yogo/>

メーリングリスト, 電子的連携, 携帯電話, 緊急防犯情報, 広域連携, 養護学校

1 はじめに

本校は、全県を学区とする全寮制の肢体不自由養護学校である。生徒は県内のいろいろな地域から入学し、遠隔地の保護者と学校との連携が行いにくい状況があった。また、生徒はほとんど身辺自立ができているので、高等部を卒業する生徒は大学や出身地の一般企業に入る者も多い。障害のある生徒の家庭への連絡や進路先との支援相談など、今後の教育支援計画の運用を図る上での確かな方法を検討する必要がある。さらに、昨今の児童・生徒の安全確保や養護学校では生徒の送迎に伴う安全・天気情報などの一斉連絡をスピーディーに行うことが重要視されるようになった。

そこで、学校と保護者、さらには広域的な連携を行うための携帯電話等を活用した連携システム(メーリングシステム)の構築と運用を目指す実証実験を行うことにした。ここでは、とくにシステムの概要について紹介し、実際の運用実験の結果については口頭で発表する。

2 システムの概要

右図は、本校で構築したメーリングシステムの概念図である。本校は、情報通信ネットワークサービスを県立教育研修所に依存し、校内にメールサーバを設置してサブドメインを得てメールアドレスを自由に発行できるようにした。ここに、

△△△△ml@harima-yogo.hyogo-c.ed.jp

というメーリングリストアドレスを開設し、さらに自校で開発を行ったメーリングリスト運用システムを導入したサーバを稼働している。

3 システムの特長

メールサーバのシステムはフリープログラムを利用している。また、ML運用サーバのMLシステムも自校開発なので金銭的な負担はまったくない。校内で完全に運用しているので、保護者の登録情報も外部に漏れることはなく、コマンドを入力することにより全国どこからでも携帯電話でメーリングリストに配信を行うことができる。また、MLサーバにはグループ登録(34個)もできるので、教員・保護者別、送迎バゴとのグループ、学年別グループ、卒業年次別グループなど、グループ別配信に威力を発揮するのが最大の特色である(サブコマンドを入力する必要がある)。

こうして本校のメーリングリストシステムは、時と場所と機種を問わず、多くのグループに即時に対応できるシステムとなっている。

4 広域連携の構築

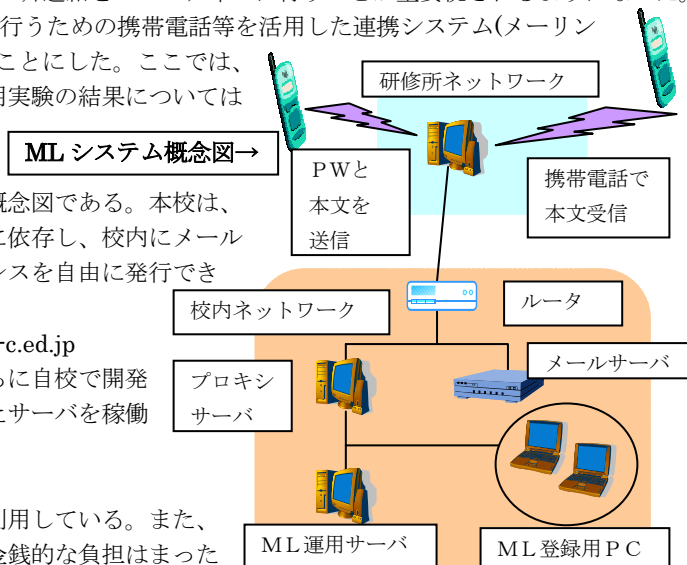
特別支援教育における「個別の指導計画」、また幼少期から卒業までの「個別の教育支援計画」を行おうとすると、本校のような全県学区の学校では支援体制も広域になりその即時性を考えれば新しい方法が必要となる。さらに、盲・聾・養護学校の校種を超えた「特別支援学校」化の動きを考慮すると、一校だけの連携では限界が生じる。異校種の学校との教育的支援の連携も現在以上に必要になってこよう。そこで、同一地区の新設校「西はりま養護学校」にも本校と同じシステムを移植し、西播磨地域全体での広域・通信連携実験を行った。大雪や凍結による交通情報、気象情報などを配信できるように年末にシステム整備を完了した。

5 広域連携の実証実験例

- ① 2学期終業式の日に大雪が降り、臨時休校の配信
 - ② 県警からの地域防犯情報の転送配信
 - ③ 学校行事の連絡
 - ④ その他
- グループ別配信機能を有効に活用した。

6 おわりに

今後は、企業・作業所・福祉施設との連携を図りたい。



【MLへの配信例】

*****	・天候悪化のため播磨北西部以外
西はりま養護ML	を含め、全面休校とします。
*****	12月22日(火)7:51(西はりま養護)
++++++	・・・路上で飼い主と散歩中のイヌ
播磨養護ML	が落ちていた竹輪を食べて死亡
++++++	1月7日(土) 14:21 (播磨養護)